

『人権問題と差別の解消について』

同和問題とは、江戸時代の封建社会で固定化された身分制度が廃止された後も、同和地区に居住すること等を理由に、基本的人権が侵害されるという社会問題のことです。

私たち一人ひとりが、同和問題を正しく理解し、思いやりの気持ちを持ち、差別を許さない意思を持つことが大切です。

差別問題は、過去に狭山事件、世良田事件、鼻緒騒動等が全国的に数多くの悲惨な出来事も記録に残されており、被差別者の解放の道は、1922年

「人の世に熱あれ」の人権宣言のもと、水平社が設立され、1925年「全国融和連盟」が結成され、その後解放運動は人々の心を引きつけ、全国的な広がりとなりました。

人権差別問題は、日本国内はもとより、アフリカ系アメリカ人の血を引くバラク・オバマアメリカ大統領の誕生は、多くの人々に勇気と感動を与えてくれました。

中国国内では、チベット系住民と、その他人種の違いによるトラブルなど差別問題の火種を

抱えており、これからの道が懸念されます。

何はともあれ、天は同じに生命を与えてくれたのです。

私たち一人ひとりが人権尊重の精神のもとに行動することが何より大切であると考えます。

社会教育委員会副委員長

旭 淑男



梅澤 愛吏ちゃん



生年月日 平成21年11月12日
(大字皆谷)

お父さん：敬 生 さん
お母さん：麻 美 さん

はじめまして、魚が大好物の愛吏です。

私は、パパが釣ってくる魚が新鮮で大好き。真鯛がおいしいね！ヤリイカも大好き♪パパ～、愛吏も大きくなったら、魚釣りに行くからね！

税に関する中学生の標語優秀作品

秩父税務署管内国税セミナー会では、「税を考える週間」に合わせ、「税に関する中学生の標語」の募集を行いました。その結果、東秩父中学校の3名の方が優秀作品に選ばれました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

埼玉県教育長賞

消費税ほくもりっぱな納税者

東秩父中学校1年 関根 陽斗

東秩父村長賞

納税はみんなのできる町づくり

東秩父中学校3年 坂本 裕美

東秩父村教育長賞

意識しよう税の意味と大切さ

東秩父中学校3年 峯岸 伽奈

第27回 新春囲碁・将棋大会 参加者募集

日時 1月23日(日)午前9時～
場所 コミュニティセンター (やまなみ) 和室
対象 村内在住または在勤で囲碁将棋に興味がある方
対戦 参加人数により決定します。持ち時間は囲碁1人に25分将棋1人に10分とします。
申込み 1月18日(火)までに教育委員会事務局へ申し込んでください。
問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

「ご寄付ありがとうございました」

◆小川ライオンズクラブ様より東秩父村へ8万4461円をご寄付いただきました。

◆昭和14年度大河原高等学校卒業生一同様より1万502円を東秩父村社会福祉協議会へご寄付いただきました。